

# 鶴保国土交通副大臣の第20回世界観光機関（UNWTO）総会への出席結果について

## 1. UNWTO総会・閣僚級ラウンドテーブルでの発言（8月26日）

- 閣僚級ラウンドテーブルでは、「観光の成長、社会経済の発展及び雇用の創出に資するビザの円滑化」をテーマに議論が行われました。各国からは、国際観光振興においてはビザの要件緩和が重要であること、そのためには政府全体を上げた取り組みを行うことが必要であることが述べられました。
- 鶴保国土交通副大臣からも同様の認識を述べ、日本の取り組みとして、本年が日・ASEAN40周年であることも踏まえ、ASEAN諸国を対象としたビザ要件の緩和を進めた旨を述べました。



## 2. リファイUNWTO事務局長との会談（8月25日）

- 鶴保国土交通副大臣から、日本の観光立国に向けた取り組みを説明し、日本とUNWTOとの関係を強化したいと考えている旨を述べました。また、リファイ事務局長の9月中旬の訪日を楽しみにしており、その際には、具体的な議論を進めたい旨を述べました。
- これに対し、リファイ事務局長は、鶴保国土交通副大臣の今次総会への出席は、UNWTOひいては南部アフリカ諸国にとって大変重要な意味を持っていること、日本にUNWTOをより積極的に活用していただきたいこと、そして自分としても9月中旬の訪日を楽しみにしている旨述べられました。



## 3. 邵（しょう）中国国家旅游局長との会談（8月26日）

- 減少傾向にある日中間観光交流の回復・拡大に向けた両国間の協力や日中韓観光大臣会合の早期再開の重要性について意見交換を行いました。

